

研究成果報告書

(ふりがな) せんだ けんいち

氏名 仙田 健一

現職 上越市立大潟町中学校 教諭

修了年度 コース 平成24年度修了 教科・領域教育専攻 社会系コース

研究テーマ「中学校社会科における地域素材の教材化と実践—新潟県上越市大潟区
を例として—」

1 はじめに

社会科における「地域¹」を取り上げる学習の意義は多くの実践や研究が示すように自明の理である²。柳澤一輝は上越地域の歴史教材を扱う授業実践・分析において、その有効性を示している³。加藤有悟は実質的地域における流域を素材として「地域の規模に応じた調査」の学習の単元開発を行っている⁴。このように中学校学習指導要領に明示されている「身近な地域の歴史」の実践や「身近な地域の調査」の実践では優れた蓄積がある。また、竹内裕一は地域学習を軸とした授業づくりの視点と小学校・中学校・高等学校の地理カリキュラムの全体像を具体的に提案している⁵。これらは「地域」を活用した歴史的分野もしくは地理的分野の一単元の授業実践や「地域」を活用した地理教育のカリキュラムを示したものである。

一方、中学校の社会科の総括である「よりよい社会を目指して」の「内容の取扱い」には「身近な地域の生活や我が国の取組との関連性に着目させ、世界的な視野と地域的な視点に立って探究させること」と説明されている⁶。この中で説明されていることを一単元だけで実践するのは困難である。それは「地域」には多様な側面があり、「地域的な視点」で探究するためには、この内容を見据えた3年間の指導が必要だと考えたからである。

そこで本研究では中学校社会科の3学年を通じた年間の指導で、どのように地域素材を活用することができるのかを授業実践によって示し、その在り方に示唆を与えることを目的とした。

2 研究内容

地域素材を活用して実践したのは以下の授業のテーマである。年間で地域素材を活用した17の授業を実践した(資料2参照)。

地域素材の収集は『大潟町史』やフィールドワーク、上越市のホームページで行った。授業実践では「大潟区のハザードマップ」「大潟区の地図」「大潟区の自然」「丸山古墳」「

No	日時	分野	授業のテーマ
1	4/16	3年 地理	大潟と新宿。どっちに住みたい？
2	4/21	1年 地理	地球上における大潟の反対側はどこだろう？
3	5/9	2年 地理	大潟区のどこへ逃げる？
4	5/27	1年 歴史	大潟の縄文人はどんな生活をしていたのだろうか？
5	6/10	1年 歴史	大潟の古墳時代はどんな様子？
6	7/7	2年 歴史	江戸幕府が滅びるとき大潟は？
7	7/10	2年 地理	大潟の住民として考えられる町おこしは？
8	9/25	1年 地理	世界の低い土地から大潟は何を学ぶ？
9	10/20	2年 歴史	明治維新。そのとき大潟は？
10	10/31	2年 歴史	大潟は文明開化によって、どのように変わったのか？
11	11/19	3年 公民	大潟区のよいところ、困っているところ。
12	11/20	3年 公民	大潟区の住民としてどう行動する？
13	11/26	3年 公民	大潟町はなぜ、上越市になったの？
14	11/27	3年 公民	大潟区をよくするために。
15	2/9	3年 公民	大潟区は暮らしやすい地域なのか？
16	2/13	3年 公民	大潟区を活性化するには…。
17	2/17	2年 地理	なぜ、大潟は雪が少ないのか？

宿場町としての大瀧」「大瀧区の特産品いちじく」「大瀧区総合事務所」を活用した。授業実践のビデオによる分析、アンケートを実施し、その分析を行った(資料1参照)。

3 おわりに (成果と課題)

生徒のアンケートの結果は資料1の通りである。④、⑤の項目はすべてのクラスで肯定的な評価が50%を超えている。授業者から見ても地域素材を活用すると生徒が自らの問題や課題として捉えやすく、興味・関心を持って授業に取り組めることが多かった。

本研究では「地域」の歴史と比較しながら「地域」をみる歴史的な見方、考え方(No.4,5,6,9,10の実践)を養い、「地域」の自然環境と比較することで地理的な見方、考え方(No.1~3,7,8,17の実践)を身に付け、そのうえで「地域」の将来を考える(No.11~16の実践)という3年間の指導計画の流れを示すことができた。しかし、指導のカリキュラムという点で内容構成と内容配列の関連性を示すことができなかった。今後は地域素材を活用したカリキュラムの作成が課題である。

参考文献・注釈

- ¹ 「地域」とは生徒が生活している土地である「身近な地域」と同義である。朝倉隆太郎「地域と地域学習の本質」朝倉隆太郎編著『地域に学ぶ社会科教育』東洋館出版社, 1989, p. 10。朝倉は社会科では「個々の社会事象が地域の中でどんな意味を持っているのか、個々の社会事象が地域の中でどんな関係で生起しているのかを理解しなければならない」と述べている。
- ² 石井重雄『地域に学ぶ社会科』岩崎書店, 1985。石井はこれの中で地域教材を取り上げる意味を整理している。
- ³ 柳澤一輝「歴史認識の深まりを保障する中学校社会科授業の展開:地域を視点に体験,探究を核とした原始学習の実践を通して」教育実践研究 22, 2012, pp. 93-98。
- ⁴ 加藤有悟「流域を素材とする『地域の規模に応じた調査』の学習—中学校地理的分野『矢作川流域』の単元開発—」全国社会科教育学会, 社会科教育論叢第 45 集, 2006, pp. 14-19。加藤によれば授業で取り上げる「地域」には身近な地域である実質的地域と行政的・政治的に区画された形式的地域があるという。1998年の学習指導要領における「地域の規模に応じた調査」は2008年の学習指導要領の「身近な地域の調査」と同質のものであると考える。
- ⁵ 竹内裕一「地域学習を軸とした社会科・地理教育カリキュラムの創造」千葉大学教育学部研究紀要第 62 巻, 2014, pp. 1-12。
- ⁶ 文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版, 2008, 参照。公民的分野の内容(4)「私たちと国際社会の諸課題」のイの「3 内容の取扱い」に示されている。

資料1 生徒へのアンケートの内容と結果

- ① 中学校の社会科は好きですか。
 1 好き 2 少し好き 3 あまり好きではない
 4 好きではない
- ② あなたにとって「大潟」は大切なところですか？
 1 とても思う 2 少し思う 3 どちらでもない
 4 あまり思わない 5 まったく思わない
- ③ 年間を通して「大潟」を事例に授業で考えることが多かったですか。
 1 とても思う 2 少し思う
 3 どちらでもない 4 あまり思わない
 5 まったく思わない
- ④ 授業を通じて「大潟」について興味・関心は深まりましたか。
 1 とても思う 2 少し思う
 3 どちらでもない 4 あまり思わない
 5 まったく思わない
- ⑤ 「大潟」を事例とすると考えが深まり、真剣に考えることができますか。
 1 とても思う 2 少し思う
 3 どちらでもない 4 あまり思わない
 5 まったく思わない
- ⑥ 「大潟」の魅力を伝えていきたい・守っていききたいと思いませんか。
 1 とても思う 2 少し思う
 3 どちらでもない 4 あまり思わない
 5 まったく思わない

生徒へのアンケートの結果 【2015年2月23日から2月27日に実施】【数値=%】
 【1年A：n=25 1年B：n=28 2年：n=28 3年A：n=23 3年B：n=24】

項目	①					②					③					④					⑤					⑥				
	1	2	3	4		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1年A	3	3	2	0		6	2	8	8	0	1	3	2	2	4	4	6	1	1	4	1	5	1	1	4	1	4	1	2	0
	2	2	8	%		4	0	%	%	%	6	6	4	0	%	%	4	6	2	%	2	6	6	2		6	8	6	0	%
	%	%	%			%	%				%	%	%	%		%	%	%	%		%	%	%	%		%	%	%	%	
1年B	4	4	1	4		5	4	4	0	0	1	3	2	2	4	3	4	1	4	0	3	4	2	4	0	5	3	1	4	0
	3	3	1	%		0	6	%	%	%	4	9	1	1	%	6	3	8	%	%	2	3	1	%	%	4	2	1	%	%
	%	%	%			%	%				%	%	%	%		%	%	%			%	%	%			%	%	%		
2年	3	4	1	0		4	5	4	4	0	2	6	7	0	4	1	6	7	1	4	2	5	1	1	0	3	5	4	1	0
	8	2	9	%		3	0	%	%	%	1	8	%	%	%	4	1	%	4	%	1	4	1	4	%	3	2	%	1	%
	%	%	%			%	%				%	%				%	%		%		%	%	%	%		%	%	%	%	
3年A	4	4	1	4		4	3	1	4	0	1	4	2	9	0	9	4	3	4	0	1	6	1	9	0	2	6	1	4	0
	0	0	6	%		3	9	3	%	%	7	8	6	%	%	%	8	9	%	%	3	5	3	%	%	2	1	3	%	%
	%	%	%			%	%	%			%	%	%			%	%	%			%	%	%			%	%	%		
3年B	4	3	1	0		6	3	0	0	4	4	3	1	0	4	5	3	1	0	4	5	3	0	0	4	5	3	1	4	0
	6	8	7	%		3	3	%	%	%	6	8	3	%	%	0	3	3	%	%	8	8	%	%	%	0	3	3	%	%
	%	%	%			%	%				%	%	%			%	%	%			%	%	%	%		%	%	%	%	

資料2 年間の地域素材を活用した実践 — 大潟を事例として —

※【 】内は教科書のキーワード(黒字) 教科書は地理、歴史は東京書籍。公民は教育出版。

日時・学年	テーマ	学習活動と内容	教科書
① 2014/4/16 3年 地理	大潟と新宿。 どっちに住み たい？	大潟と新宿の写真をみる。どちらに住みたいか挙手する。それはなぜか考える。大潟と比較したときに新宿(地価の比較)が住みやすい理由(情報や流行の最先端)と住みづらい理由(渋滞、大気汚染、ヒートアイランド現象 など)を考える。このような理由をもとに大潟に住みたいか新宿に住みたいかを選択し、理由を発表する。【首都 夜間人口 昼間人口】	pp.204-205。 首都・東京と 各地との結 びつき。
② 4/21 1年 地理	地球上におけ る大潟区の反 対側はどこだ ろう？	地図に引かれている線は何かを考える。何のためにあるかを考える。略地図を書き、本初子午線や赤道、緯線(緯度)や経線(経度)を理解する。緯度や経度を使って大潟区的位置を表す。さらに大潟区の反対側を表す。【緯度 経度 赤道 緯線 経線 本初子午線】	pp.10-11。 地球上の位 置をあらわ そう。
③ 5/9 2年 地理	大潟区のどこ へ逃げる？	日本には、どんな自然災害が発生するのか考える。防災に対する取り組みを考える。大潟区の地図を使って自宅の位置から地震、津波のとき、どこに逃げるか考える。大潟区の防災マップをみる。自然災害と人間の関係を考える。住民一人一人が防災に対する意識を高めることが大切なことを知る。【自然災害 津波 土石流 高潮 防災マップ】	pp.134-135。 自然災害と 防災への取 り組み。
④ 5/27 1年 歴史	大潟の縄文人 はどんな生活 をしていたの だろう？	縄文土器のかけら(画像)を見る。この土器のかけらは、どこで見つかったものか考える。大潟区の丸山遺跡で見つかったものであること知る。土器以外に見つかったもの(石器や釣り針)や土器が見つかったことは何を示しているか考える(保存や煮炊きに利用した)。大潟の縄文人はどこに住んでいたのか班で考える。黒板の拡大した地図に予想した場所をシールで表す。その理由を発表する。資料『大潟町史』から大潟の縄文人はどんな生活をしていたか読み取る。授業で分かったこと、気づいたこと、思ったことをワークシートに記入する。【縄文土器 縄文時代 貝塚 たて穴住居】	pp.28-29。 日本列島の 誕生と縄文 文化。
⑤ 6/10 1年 歴史	大潟の古墳時 代はどんな様 子？	丸山古墳の写真をみる。何か考える。大潟の古墳は誰がどのようにして作ったのかを考える。出土品から大陸文化との関わりを捉える(資料『大潟町史』)。古墳作りに人々は進んでつくったのか、無理やり作ったのかを選択し、理由を考える。周りに古墳がみられないことから大潟に有力な支配者がいたことを捉える。【大和政権 古墳 古墳時代 百済 新羅 伽耶(任那) 大王 渡来人 朝廷】	pp.32-33。 大王の時代。
⑥ 7/7 2年 歴史	江戸幕府が滅 びるとき大潟 は？	一揆や打ちこわしの増加、薩長同盟が江戸幕府の滅亡(大政奉還)につながっていることを知る。一部の不満をもつ武士が戊辰戦争へと発展したことを捉える。戊辰戦争時の高田藩の行動に対して大潟がどんな役割をしたかを考える。大潟は潟町宿であり人馬の差出しや賄いを用意したことを資料から捉える。【尊王攘夷運動 井伊直弼 西郷隆盛 大久保利通 木戸孝允 薩長同盟 大政奉還 王政復古の号令 戊辰戦争】	pp.144-145。 江戸幕府の 滅亡。
⑦ 7/10 2年 地理	日本最大の過 疎地は？大潟 の住民として 考えられる町 おこしは？	将来、どこに住んでいるか考える。なぜ、そこに住んでいるのか考える。日本は大都市に人口が集中していることを知る。過密地域の問題点を考える。日本最大の過疎地が上越市であることを知る。過疎地域の問題点を考える。大潟区の住民としてできる町おこし・村おこしを考える。【過密地域 ドーナツ化現象 過疎地域 限界集落 町おこし・村おこし】	pp.142-143。 日本の過疎 ・過密問題

⑧ 9/25 1年 地理	世界の低い土地から大潟は何を学ぶ？	低い土地はどんな土地か考える。タイのバンコクの写真から生活や気候の特色を捉える。近年のバンコクの変化を知る。大潟区が低い土地に適応した生活の工夫から学ぶことは何かを考える。【雨季 乾季】	pp.34-35。 低い土地にくらす人々。
⑨ 10/20 2年 歴史	明治維新。そのとき大潟は？	明治維新を人々は喜んだのかを考える(一揆の数や政策から)。明治維新の時代に大潟ではどんなことが起こっていたか資料『大潟町史』から捉える。廃藩置県の影響を捉え、潟町村や犀潟村へと合併したことを知る。当時の人々はどんな気持ちだったのかを考える。【明治維新 五箇条の御誓文 版籍奉還 藩閥政治 解放令】	pp.146-147。 新政府の成立。
⑩ 10/31 2年 歴史	大潟は文明開化によって、どのように変わったの？	文明開化の絵から明治を発見する(○をつける)。欧米の文化が取り入れられ、生活が変化したことを捉える(文明開化)。資料『大潟町史』から文明開化によって大潟はどのように変わったのかを読み取る(潟町小学校、郵便制度、鉄道、馬車、電灯)。【文明開化 中江兆民 福沢諭吉】	pp.150-151。 世界とつながる日本の文明開化。
⑪ 11/19 3年 公民	大潟区のよいところ、困っているところ。	大潟区に住んでいて良いところと困っているところを付箋に書いていく。付箋を黒板にグループ分けしながら貼る。地域によって人々の抱える課題や生活の要求が違うことを捉える。そのために地方自治体はどんなことをしているのか知る。大潟区の住民として自分は何ができるのか考える。【地方自治 地方分権 地方自治法】	pp.104-105。 身近な地域の政治地域の課題と地方自治。
⑫ 11/20 3年 公民	大潟区の住民としてどう行動する？	「大潟水と森公園に火力発電所を作る計画が立ちあがった」と仮定して、作ることに賛成か反対か選択し、その理由を考える。次に「月10万円、地域の人に交付する」といわれたら賛成か反対かを選択する。そして「親の次の仕事が火力発電所だったら」賛成か反対か選択し理由を考える。これらを通して住民の権利と直接民主制のしくみが多く取り入れられている理由を知る。大潟のために「今」できることと「大人」になってできることを考える。【直接請求権 住民投票 住民運動 NPO(非営利組織) 自治基本条例】	pp.108-109。 住民自治が地域をつくる住民の権利と参加。
⑬ 11/26 3年 公民	大潟町はなぜ、上越市になったの？	2005年に13町村が合併し大潟町が上越市となったことを知る。市町村合併のよいところと悪いところを教科書から読み取る(グループ活動)。市町村合併しないで大潟町のままなら何が必要か考える(グループ活動)。【市町村合併 財源移譲】	pp.112-113。 地域の自立を旨として地方自治の課題。
⑭ 11/27 3年 公民	大潟区をよくするために	地域活性化の視点に立ち、大潟区の観光プランを考える。まず、ブレインストーミングで大潟のよいところを出し合う(個人)。次に付箋を貼りながら、ファシリテーショングラフィックの手法を用いて方眼紙に観光プランを考えていく(グループ活動)。全体で観光プランを発表する。【キーワードなし】	pp.114-115。 地域で安心して暮らすために地方自治のこれから。
⑮ 2015/2/9 3年 公民	大潟区は暮らしやすい地域なのか？	大潟区の写真(総合事務所、公園、公民館、図書館、野球場や河川整備)を見ながら身近な場所から公共事業を捉える。大潟区のどこにノーマライゼーションの考えが見られるか、大潟の写真をもう一度見て探す。バリアフリーを捉える。シャンプーとリンス(実物)からユニバーサルデザインの考えを捉え、学校のトイレの看板には何が書いてあるか予想させる。大潟区をさらに住みやすい地域にするには、どんなことが必要か市長になったつもりで考える。個人、グループ活動、発	pp.164-165。 暮らしやすいまちづくりへ社会資本と協働。

		表の順で行う。【公共事業、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、協働】	
⑩ 2015/2/13 3年 公民	大潟区を活性化するには…。	大潟のイメージマップを書く。イメージマップから大潟の特色となるのは「これだ」と思うものを発表する(全員)。大潟を取り上げた番組のブログの写真(鵜ノ浜海水浴場、どんど池、いちじく、水と森公園、丸山古墳)を見ながら大潟区の魅力を再認識する。大潟が抱える課題(少子高齢化、人口減少、市町村合併後の行政サービスの低下)を捉える。【経済格差、地域通貨】	pp.170-171。 地域経済とその活性化 現状と新たな試み。
⑪ 2015/2/17 2年 地理	なぜ、大潟は雪が少ないのか？	新潟県と北海道のどちらが、雪が多いか判断する。新潟県は温帯であり、北海道は冷帯であることを捉える。それでも新潟県に雪が多い理由の説明を知る。大潟と上越の山間部の写真を比べて、なぜ、大潟に雪が少ないのか考える。資料として防砂林の写真、飛んできたゴミの写真、山側へ曲がった松の写真をみる。強風や低い土地が雪を少なくしていることを捉える。	pp.190-191。 中部地方の 生活の舞台

参考文献・資料

- 青柳慎一『中学校社会科 授業を変える板書の工夫』明治図書, 2014。
- 井田仁康編著『究極の中学校社会科 地理編』日本文教出版, 2013。
- 伊藤純郎編著『究極の中学校社会科 歴史編』日本文教出版, 2013。
- 猪瀬武則編著『究極の中学校社会科 公民編』日本文教出版, 2012。
- 大潟町史編さん委員会編『大潟町史』大潟町, 1988。
- 開発教育協会編『開発教育実践ハンドブック』開発教育協会, 2012。
- 上條晴夫編著『ワークショップ型授業で社会科が変わる 中学校』図書文化社, 2005。
- 河原和之:『100万人が受けたい ウソ・ホント?授業 中学地理』明治図書, 2012。
- 河原和之:『100万人が受けたい ウソ・ホント?授業 中学歴史』明治図書, 2012。
- 河原和之:『100万人が受けたい ウソ・ホント?授業 中学公民』明治図書, 2012。
- 北村明裕『子ども熱中 中学社会「活用・探究力」書き込み習得ワーク 47』明治図書, 2012。
- 澁澤文隆『中学校社会科定番教材の活用術 地理』東京法令出版, 2012。
- 澁澤文隆『中学校社会科定番教材の活用術 歴史』東京法令出版, 2012。
- 澁澤文隆『中学校社会科定番教材の活用術 公民』東京法令出版, 2012。
- 館潤二編著『中学校社会科 100の重要学習事項指導辞典』明治図書, 2013。
- 平田博嗣『中学校社会科単元別「キー発問」アイデア』明治図書, 2012。
- 歴史教育者協議会編『明日の授業に使える中学校社会科 地理』大月書店, 2013。
- 歴史教育者協議会編『明日の授業に使える中学校社会科 歴史』大月書店, 2013。
- 歴史教育者協議会編『明日の授業に使える中学校社会科 公民』大月書店, 2013。
- 上越市 HP「<https://www.city.joetsu.niigata.jp/>」(最終閲覧日 2015/3/9)。